

市議会だより



2009
第17号

8月10日

—夢・大地 みんなが愛する水の里—

「輝いている人」



劇団 ドリーム★キッズ

練習に汗 いちばん星★み~つけた♪



目次

一般会計補正予算15億3086万円増額を可決2
ここが聞きたい（一般質問）【21人登壇】6
議会改革調査特別委員会を設置17

平成21年度一般会計補正予算（第2号）

15億3086万円増額を可決



平成21年第2回定例会は6月10日に招集され、6月26日までの17日間の会期で開催しました。

本定例会には平成21年度各種会計補正予算案、登米市高倉勝子美術館条例の制定、登米市議会改革調査特別委員会設置に関する決議など37議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

本定例会より設置された「発言席」での一般質問は、21人の議員が登壇し、当面する行政の問題点などを質しました。

本定例会に提案された一般会計補正予算は、当初予算が、改選年度ということを考慮し、義務的経費をはじめ経常的な経費や継続的事業を中心に編成されていたため、今回新規事業などの政策的経費を含め、歳入歳出予算の総額にそれぞれ15億3086万円を追加し、

当初予算と合わせ400億6305万円とするもので、主な内容は下記のとおりです。

また、各種特別会計、企業会計は、人事異動に伴う職員給与費等の補正が行われました。

一般会計補正予算（歳出）の主なもの

事業内容	金額
市役所迫庁舎耐震補強等事業費	2億2075万円
米山清水第一住宅ほか14件に係るアスベスト対策事業費	1億9944万円
特別養護老人ホーム柳風園施設整備事業費	8285万円
住宅用太陽光発電システム設置事業費	500万円
ふるさと雇用再生特別基金活用事業費	3312万円
道路整備事業費（新規12路線）	1億5590万円
公営住宅ストック総合改善事業費	1億2418万円
南方就業改善センター災害復旧事業費	1億3112万円



石越小学校で行われている食育授業

補正予算審議

一般会計予算総額 400億6305万円に

一般会計補正予算

- Q 米山町山吉田集会所建設補助780万円とあるが、市の補助金は300万円上限ではないのか。
- A 宝くじ助成によるもので、この制度利用は、17年度以降2件目である。
- Q 電子入札導入のねらいと費用対効果の試算は。
- A 事務手続きの簡素化、競争性の向上、不正行為の防止等を見込み、職員数削減等で費用対効果を見込んでいく。
- Q 24年までに電子入札を完全移行する計画だが、対象発注業務は。
- A 工事関係で、一般競争入札を主眼に考えている。
- Q 登米インター付近に案内板設置と周辺開発を。
- A 早い時期に設置する。開発については、県北高速幹線道路等と合わせ、今後考ええる。
- Q 太陽光発電、雇用再生対策に取り組んだ概念、市としての考え方は。
- A 市として重要な案件で、国の補助金活用のため。
- Q 消防北出張所、10坪増築

の設計料224万円、工事費850万円の仕様内容は。

- A 増築により、構造計算が必要となり、また、既存施設の耐震補強等が加わる。
- Q 栄養教諭を中心とする食育推進事業とは。
- A 県費栄養教諭の配置が行われている石越小学校を中心に取り組み、農協や生産者と連携し、事業を通じて望ましい食生活、食習慣の指導をすることともに、生産者の講話等で食の意識を高めるものでも行い、それらも給食にいかしていく。

国民健康保険 特別会計補正予算

主なものは、10月から出産育児一時金を4万円増額し42

- Q 市の雇用対策は、国の事業に基づいた今度の事業だけで、他の対策はないのか。
- A 国の21年度補正の中で、緊急臨時雇用対策として、市に1億8000万円相当の対策事業が措置されたので、次の臨時会においてさらなる雇用対策を図っていく。

万円にするもの、特定健診の心電図検査は対象者の範囲を拡大すること、葬祭諸費20人分の増等である。

- Q 死亡届出書類の整備を。
- A 記入しやすいよう工夫する。
- Q 葬祭費の目的を達成できないよう、速やかな支出を。
- A 趣旨に沿って検討する。

病院事業会計 補正予算

主なものは、佐沼病院南館耐震補強・改修事業調査設計費2500万円。医学生奨学金貸出事業1920万円。当年度の純損失として7億9089万円余りと見込んでいく。

- Q 回復期リハビリ病床は、県北圏域の範囲となるか。
- A 県の地域医療計画には、その方向で登米市は二次医療圏として病床を持つことが示されている。
- Q 医学生奨学金事業は15名の計画であるが、希望者が多くなった時はどうする。
- A 市の重要な事業として、多くなるのは歓迎する。

人権擁護委員候補者 適任と決定

人権擁護委員候補者の推薦につき、適任と決定しました。

- 人権擁護委員候補者
○及川純子さん
(東和町錦織)

監査委員選任に同意

監査委員選任につき議会の同意を求められ、全会一致で同意しました。



- 監査委員
○星 紘毅さん
(南方町後高石)

意見書

公益に関わる意見書案が提出され、審議の結果、可決しました。
内閣総理大臣をはじめ関係行政庁に送付し、その実現を要請しました。

- 「非核日本宣言」を求める意見書
- 日米地位協定・裁判権放棄の日米密約の公表・廃棄を求める意見書

人事

条例を制定



共同会見に臨んだ高倉勝子さん

登米市高倉勝子美術館 条例の制定について

④ 美術館の常設展示室は他の人の作品も展示できるのか。また多目的室は一般の人が使用できるのか。夜間も使用できるのか。

⑤ 現段階では高倉さんの代表的な作品を展示する予定。多目的施設はいろいろな創作活動や作品の展示ができる。基本的には午後4時半までの開館時間となる。

⑥ 社会教育局では、どういふ位置づけで管理していくのか。また美術館だと、学芸員などの専門家を配置して、来た人に便宜を図るといふことは考えているのか。

⑦ 条例で定める美術館、公の施設といふ位置づけとなる。学芸員に近い知識を持った人材の配置を考えている。

⑧ 観覧料は子どもを無料にするなど、もっと安くすべきではないか。

⑨ 将来的には他の観光施設との共通券にしたいと考えて

いる。小学生や障害者については全額免除する。

高倉勝子さんの紹介

登米市出身で仙台市泉区在住。女子美術大学日本画部で本格的に日本画を学び、卒業後教員になってからも積極的に創作活動を行ってきました。主に河北美術展などで活躍し、20年には文部大臣から地域文化功労賞を受賞しています。

災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について

⑩ 指名14社のうち8社が辞退しているがどういふ理由か。

⑪ 消防等の特殊車両という形で指名願いが出され指名している。しかし、救助工作車のように大がかりなものから軽積載車のような小規模まで同一の指名願を受けているため、企業によっては手に負えず、辞退したものと考えられる。

賛成討論

財源は国の景気対策であり大変有利である。入札の技術的なことは多少、改革の余地はあるが、早く決定した方がいい。

※起立採決の結果、起立多数で可決

反対討論

入札辞退者が多いこと。96・58%という高落札率の説明がないこと。一度目の入札不調により、予定価格を下げるためホース30本を仕様から外していることなど、予算の持ち方、執行の仕方に疑問がある。

⑫ 指名業者の中に、自動車販売会社、車両メーカー、ポンプメーカーがあり、取引の中で、競争性、公平性が保てるのか。

⑬ どういふ形が一番、競争性、公平性、平等性が高まるか十分検討したい。

登米市税条例の一部を改正

提案理由 地方税法の一部を改正する法律が21年4月1日から施行されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

反対討論

税金は負担能力に応じて納めるのが民主的ルールであるが、大金持ちには莫大な減税。庶民には定率減税も廃止されるなど、増税と社会保障の負担増という逆立ちしたやり方は認められない。

※起立採決の結果、起立多数で可決

議案審議

第2回定例会で審議された内容のいくつかを要約してお知らせします。

高倉勝子美術館

国保条例の一部を改正する条例

提案理由 地方税法の一部を改正する法律が21年4月1日から施行されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

④ 国保の基金、年度当初9億2000万円の残高は、多過ぎるのではないかと。

⑤ 厚生省保険局国保課長通達が12年に出され、保険給付費一般分の25%を目標として基金を持つように指導されている。19年度は14億9400万円で、20年度は12億5800万円であるが、当面は10億円を目標としている。

⑥ 医療費と収納率は県内で何番目くらいになっているのか。

⑦ 19年度の数値であるが、一人当りの医療費は34万3158円となっており県下では36番目である。また、収納率は91・22%と、19番となっている。

過疎計画・辺地整備計画の変更について

提案理由 両計画は、20年度に変更議決しているが、21年登米市総合計画の実施計画を策定したことで、現計画の見直しが必要となったことから変更するもの。

⑧ 東和町中嶋四十田、並びに上沢集落排水路整備事業の2件が削除されている。特に上沢地区では、浄化槽対応であるが排水路整備は大丈夫か。

⑨ 過疎計画以外の対応をしていくので大丈夫である。

⑩ 辺地整備計画の農業集落排水事業と合併浄化槽との将来負担の比較はしているのか。

⑪ 中田町大泉地区については、下水道事業全体の見直しの中で検討した。該当户数、連担の状況を考慮し、農業集落排水事業で実施することとした。



農業集落排水事業で整備される中田町大泉地区

第5回臨時議会

平成21年第5回臨時議会は、5月28日に招集され1日間の会期が開かれました。

本臨時議会では、登米市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例が提案され、国家公務員の期末・勤勉手当等に関する人事院勧告の趣旨を踏まえ、市職員の21年6月期の期末・勤勉手当の支給月数を暫定的に引き下げることとし、市長等の常勤特別職・教育長、議会議員の期末手当の支給月数も、同様の措置とする内容であり、原案のとおり可決しました。



議場改修工事のため、迫公民館で開催

区分	期末手当	勤勉手当	6月期計
一般職の職員	1.40月→1.25月 (△0.15月)	0.75月→0.70月 (△0.05月)	2.15月→1.95月 (△0.20月)
区分	期末手当	勤勉手当	6月期計
議会議員	1.60月→1.45月 (△0.15月)		1.60月→1.45月 (△0.15月)
区分	6月期支給月数	12月期支給月数	年間支給月数
市長 市副市長 市管理 市教育 副市長 副市長 教育長	2.10月→1.60月 (△0.5月)	2.30月→1.70月 (△0.6月)	4.40月→3.30月 (△1.1月)

市政

こじが聞きたい

第2回定例会の一般質問は、6月17日から4日間、21人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。
 (紙面の都合により内容を要約してお知らせします)

一般質問



ナイスショット (善王寺コミュニティセンター)



相澤吉悦 議員

問 施設利用について

答 しっかり調査し判断する

問 19年4月から、施設の維持管理に係る経費などをともに、施設利用料減額免除規定の見直し

され、幼稚園、保育園、学校で利用する場合はすべて免除するところがあるが、障害者団体もすべて免除すべきだと思つが。

答 身体障害者手帳が交付されている団体は、施設利用料を免除するが、暖房費等の付帯料金は実費負担、減免はしない。

問 障害者団体に施設利

用料について話しをしたことがあるか。

答 各施設に張り紙等を張り掲示した。どれぐらいの負担をしているかしっかり調査し、話しも聞いた上で判断する。

問 統廃合で閉校になった学校施設は、地域の行事、スポーツ団体等が利用してきたが、今後、どのようになるのか。

答 閉校施設は、地域の方々、市民共有の貴重な財産である。市政や地域課題とも照らし合わせ、

引き続き地域活性化につながる利活用を探っていくと考へている。

問 各幼稚園ごとに、預かり保育の人数で大幅に格差があるが、幼稚園教諭、講師が適正に配置されているか。

答 預かる幼児数に大きな開きがあり、利用者数、施設の状態を勘案し、職員適正な配置を含め、安心して預けられる環境づくりを進めていく。



開発が待たれるJR石越駅

問 まず経済不況対策に全力を

答 本市の新エネルギーを検討



佐藤 勝 議員

問 現下の経済不況対策には、深刻な雇用問題や企業・商店への経営支援等に加え、将来の登米市

発展に向けて「環境保全」と「観光の振興」を提案したい。

①市独自の環境対策を立て、市経済の活性化に資すべきと考えるがどうか。
②国で創設したグリーンニューデール基金の活用に積極的な取り組みを。
③スギ花粉が少ないスギ苗に植替えの取り組みを。

④市の観光に関し、DCへの参加や三陸道登米インター開通の相乗効果と今後の展望を伺いたい。
⑤登米市観光の振興に向け宿泊型の観光戦略を指し、独立した観光課の設置と、民間からの専門官招致を提案する。

答 ①市民一人当年間517kgのCO₂排出抑制を目指す。その一環で太陽光発電システムを設置した個人に補助を行う。また、本年「登米市自然エネルギービジョン」を

まとめたい。
②同基金の対象となり得る事業がないか検討する。
③展示林として1haの整備が国の事業対象となり、導入を検討する。
④DCの実施は燃油高騰や地震の影響、経済危機の影響回避に大きな効果があった。また、登米インターの開通を機に滞在時間延長の展望が開けた。
⑤近隣市町でも民間からの職員採用をしており、関係団体との連携した採用も含め検討したい。

問 もっと開業医師との連携強化を!!

答 今後早速それらについて進めたい



二階堂一男 議員

問 市民の安全、安心の確保に向け、市立病院と民間医療機関の連携強化のため、登米市医師会に

対し、どのような対応をしているか。

答 病院事業管理者 現在、左沼病院では、八木小児科医院や、おた・おたに・クリニックの先生に定期的に応援をお願いしている。また、米谷病院では米川診療所の先生に、月2〜3回の当直を、上沼診療所では、



※グリーンニューデール基金 環境に配慮した雇用政策の基金

みやぎの明治村の街並みを人力車で式場に移動

上杉皮膚科や佐幸医院の先生方の協力をいただいている。医師会との間で具体的な話し合いをまだ進めていない状況であり、今後、副会長である佐沼病院院長や、地域医療連携室長と共に進めていきたい。

問 総合計画に位置づけられている石越駅周辺開発と東口開設をどう進めるか。

答 昨年度、調査検討とJR東日本との協議を進めた結果、現時点で駅前

周辺の人口と利用客の増が望めないことから必要な施設等を算定した結果、不足している40台分の駐車場を「くりでん」跡地等に。また、駅前油島線道路の整備に取り組み。なお、東口開設と西口を結ぶ自由通路設置は、多額の予算が想定されることから、更に慎重な検討を重ねていく。

その他の質問

○窓口職員配置基準は

佐沼病院の信頼度向上について

答 スタッフの頑張る姿を全国発信



田口久義 議員

問 医療サービスの観点から、佐沼病院の全国レベルランキングは、どのくらいと捉えているか。

答 持ち合わせの資料がないので答えられないが、信頼される病院の構築に今後努力していく。

問 医師が患者に対して病気や病状、検査や治療の内容を分かり易く説明し、患者が納得できる対応、いわゆるインフォームドコンセントが大切な要素と思うがどうか。

答 医師不足、医師の過重労働環境の中で、きめ細かな対応は相当負担になっていると思うが、このことは、信頼度という点で、きちっと行っていく必要があると考える。

問 このインフォームドコンセントのあり方は、病院への信頼度、しいては病院の収支改善等にもつながり、すべての病院経営の根幹を成す部分と考えるが、見解は。

答 そのこと自体に異論はなく、今後は医師だけでなく、看護師やコメディカルスタッフ（医療従事者）も含めて、病院総ぐるみで、患者対応に努力していく。

問 診断や治療について、第二の医療機関の見解や診断を受けることのできるシステム、いわゆるセカンドオピニオンに対する見解は。

答 インフォームドコンセントとセカンドオピニオンは車の「両輪」との考えから、なお一層努力をし、取り組んでいく。



リハビリ棟を含め耐震補強が予定されている佐沼病院南館



迫管内の有効求人倍率は0.24%（6月末現在）

雇用の冬はこれから、対策を

答 9000万円程の追加補正する



佐藤恵喜 議員

問 政府の21年度補正予算は到底評価できないが、不十分なから雇用や暮らしの対策に市が活用でき

るものがある。中小業者に効果が及ぶように、特に雇用の冬はこれから。雇用の継続や雇用者数拡大などの対策強化を。

問 涌谷町や藤沢町は地域包括医療・ケア体制を推進する中で、地域医療に力を入れる町ならば、全国から医師が集まる。登米市の構想もこのようにところまで目指すのか。

問 市立病院での「コンビニ受診」はあるのか。

答 実施計画を取りまとめ中。有効活用したい。雇用対策では9230万円の追加補正したい。採用年齢も柔軟に対応したい。

答 年間1500人程度ある。広報紙等で注意を促している。一方、日中受診できない患者対応として、米谷病院や上沼診療所では予約制で夜間診療を実施。登米診療所では8月から日曜診療を試行していく。



問 登米市として、今後の景気対策は

答 地域産業の活性化に努める



佐々木一 議員

問 国の90兆円余りの景気対策予算の中で、市にはどの程度交付され活用可能な事業はどのくらいか。

答 のか、また、市独自の景気対策の考えは。市に対しての交付金は約24億円で、医療機器の整備や庁舎の耐震補強など各施設の改修事業に、独自策として新たな事業4件の事業者を広く公募し3年後に企業化を目指し取り組んでいく。

なぜできない 公共施設の弾力運用

問 平岡沼のYOU・YOU館や各地域の公民館

など市内の公共施設を利用してミニ合宿や宿泊を伴う体験学習など、子供たちの貴重な行事がこれまで行われてきた。現在は宿泊施設でないという理由で利用できる施設は市内一カ所もない。市民の想いに応える弾力的な施設の運用はできないか。

答 今後は地域の皆様と

下水道整備について

問 公共下水道事業から

浄化槽事業にかなり計画変更されているが、区域によっては見直し効果に疑問点がある。何を根拠基準に見直しているのか。答 家屋間の距離が50m以内で50戸以上を集合処理区域と設定し、18年度から20年度までに86行政区3997世帯の変更を行った。

事業連携など十分話し合い課題解決を図りたい。



弾力的運用が望まれる (YOU・YOU館)

問 特色ある高校再編をどう提案する

答 百年の計に立った再編を考える



田口政信 議員

問 県教委は、『新たな県立高校将来構想』の中間案をまとめ、「登米地区は、教育機会と高い教

育効果の期待できる規模の高校をバランスよく配置を検討する」としているが市の考え方は。

答 高校再編はやむを得ないと認識している。普通高校と農工商連携の実業高校が必要と考えている。

問 農工商連携の地域総合学科に加え、石ノ森章

太郎の故郷であることで漫画学科や市内の食材を生かした料理学科などの発想はできないか。

答 普通高校への通学者が6割いるが、企業ニーズや産業構造に即応した人材を育てる再編に向けて、特色ある学科の提案を受け止め、教育委員会で作成し、百年の計に立った高校再編を考えていきたい。

問 病院経営の舵取り役としての改革プランに対する考え方は。

答 目標の達成度や妥当性などについて点検評価をし、変更や見直しをしていく。病院事業経営者会議や8つの専門部会で検討し、推進していく。

問 米谷病院の民営化の報道があるが経緯は。

答 現在、移行時期、法人格の取得、医師の招聘、職員の確保等ヒアリングを行っている。

病院改革プランの評価と推進方策は



全線開通が待たれるみやぎ県北高速幹線道路

問 老健施設は多床室の方向で

答 利用者負担の少ない整備を考える



金野 静男 議員

問 介護施設への入所待機者は、1000人を超えている。市は23年度まで1000床の老人保健施設

を民設民営で建設の計画であるが、次の点を伺つ。
 ①今は個室ユニット型が主流だが、利用者負担の軽減に多床室の考えは。
 ②1000床1施設でなく50床2施設の考えは。
 ③設置場所の選定は。

い多床室の整備がぜひ必要と考え、県と協議の上で強く要望していく。

②施設の設置は民設民営なので50床か100床規模かは検討する余地がある。

③場所は施設規模も考慮し検討中である。

地域の協働事業で用排水路整備を

問 市内には、ほ場整備事業から除外されている水田がまだあり、営農に支障を来している。

協働事業でU字溝等の資材は市で提供し、工費は地権者負担で用排水路の整備はできないか。

答 市民と市の役割分担のもとで地域課題が解決できれば、工事の安全確保や施工後の維持管理等、土地改良区や受益者との合意の上で、市や土地改良区が保有する資材の再利用により、関係団体や受益者が主体的に取り組むまちづくり事業として検討したい。

問 県北高速幹線道二期工区の着工は

答 県から示されていない



伊藤 栄 議員

問 高速道はつながってこそ効果があるもの。県の事業とはいえ、迫町北方へ登米IC間の二期工

区は、県土木行政推進計画にあるが着工年度が示されていない。当局からどう説明を受けているのか。また、登米ICから迫町に向かい工事を進めることはできないか。

答 第一工区の栗原地内は当初計画より早まり、23年度供用開始の見通しであるが、二期工区はま



豊里町にある老健施設「スマイルとよさと」

景観行政団体の指定を受けて

問 政令指定都市仙台を除き県下第一号である。

だ詳細計画は示されていない。地方中心都市間の交流ネットワーク路線として位置づけられており、今後とも機会を捉え早期実現に向け努力していく。また、二期工区間の手法については、現実性と即効性のある形で事業が進んでいくよう強く提言していきたい。

合併以前より街並み景観整備事業を継続している地域である。北上川河川改修事業等に伴い日根牛地域の宅地造成が行われているが、地域の風情等を考慮し、住民の協力をいただき検討できないか。
答 街並み景観整備事業等と国の制度と絡めながら、地域景観を意識した形での外観等を形成できるように働きかけていきたい。



浅水小学校の放課後子ども教室

問 介護保険の充実を求める

答 更新前のサービスは継続



佐藤尚哉 議員

問 要介護認定の調査方法が変わり、4月から介護サービスが低く押さえられている。その人の自

立を助ける介護保険制度が求められているが。
答 すべてのケースで要介護度が低くなる傾向は見られない。本人の希望により、更新前の介護判定でサービスは継続して受けられる。毎日健康で元気に過ごせる環境づくりを考えていく。

農業後継者に支援を

問 月10万円の支援を求め

める。再生産のできる農家支援や価格保障制度が求められているが。

答 研修では月3万円の支援をしている。就農者の意見、要望に応える支援を考えていく。国策の中に反映させる取り組みを考えていく。

農地法の「改正」は

問 株式会社や外国人も自由に利用できる農地法

に、どのように向き合うのか見解を求める。

答 農業委員会会長、農業委員会の的確な判断や監視、指導が重要と考えられている。

答 市場化に完全に飲み込まれるという危機感を持っている。

教育委員会と学校管理

問 先生方の健康管理と学校管理は。

答 毎月の校長会で教職員の健康管理に努めるよう強く指導を続けている。

問 学童クラブの6年生までの延長を

答 できるだけ早い時期に方向づける

問 市内には児童館、学童クラブなど学校単位で設置されているが、対象は小学校3年生までとなっ



工藤淳子 議員

ている。多くのお母さん方から「4年生になって家に一人でおくのは心配だ。せめて夏休みだけでもなんとかならないか」という声が出されている。6年生まで延長できないか。また、迫・加賀野の学童クラブは人数が多く、3年生でも入れない子どもがいる。定数を増やせ

ないか。

答 子どもが安心して遊ぶことができる居場所の確保のため、福祉事務所と教育委員会が連携し、1年生から6年生までを対象とする「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の実施体制を検討中。できるだけ早い時期に開設を進めていく。

子どもの医療費無料化の拡大を

問 今、子育て世代の若い親たちは大変だ。お金

の心配で子どもを病院に連れて行けない親を無くし、病気の子どもを苦しませない、温かい助成制度が必要ではないか。栗原市では中学校卒業まで入院費を無料にする補正予算を計上した。せめて栗原市並にできないか。
答 早急に検討し、できるだけ早く具体策を提案する。実施にあたっては、さかのぼって実施可能な取り組みになるよう検討する。



デイサービスで風せんバレーを楽しむ利用者

問 米谷病院の民営化について

答 実現性について検討中である



遠藤 音 議員

問 米谷病院が民営化された場合、勤務医の減少で夜間救急患者の受け入れに対して支障を来さないか。

答 現在の夜間救急は、大学病院からの派遣医師一人が主に対応しており、二次医療圏整備をするために、改革プランでは医師の集中で2人体制の実

現を目指している。米谷病院の民営化が行われた場合の体制への影響を検証していきたい。救急車の増車により3隊運用で8・5分から6隊運用で6・9分と平均現場到着時間が短縮され、迅速な救命措置が可能となり救命率が上がると考える。

教育施設の維持管理

問 教育施設の維持管理は、現場の要望が予算不足でなかなか受け入れられないと聞く。計画性を

持った施設の運用を図るべきと思うが。

答 教育施設の維持管理費は、16年度と19年度を比較して1800万円プラスに転じている。施設も増加傾向にあるが、必要な経費については措置されていると考える。

防災ラジオの活用法

問 防災ラジオを行政、議会の広報に使えないか。

答 電波法により活用の範囲が限定されており、長時間の中継は難しい。



憩いの場を皆の手で（若草山公園）

問 協働のまちづくりに市の支援は

答 リーダーを養成し、実践・活躍



岩淵正宏 議員

問 「協働でひらくこれからのまちづくり」と立派なスローガンを掲げているが、市民にだけ押し

付けていないか。自治会長だけが苦労している行政区も見受けられる。市の支援、職員をどのように関わらせていくのか。

答 市は各町域から受講生を募集し、次の世代を担うリーダー養成研修を引き続き実施する。修了者は、地域活性化のコーディネーターとして実践・

活躍してもらおう。

また、職員による、「協働推進チーム」を編成し、地域づくりのプロとして自覚と専門性を持ち、活性化に積極的に取り組むよう進めていく。

習熟度別学習について

問 習熟度別にグループ分けすることにより、いじめなどの発生は心配ないか。また教員の負担は。

答 児童たちは自分の習熟度を知っているので、自分に合った学習ができ、

授業がわかりやすいと喜んでいいる。いじめの不安を持つ必要はない。教える側として、本市は補助教員の配置が他に比べ多く、その範囲の中で取り組んでいる。

問 学力向上と合わせ、体力向上も必要では。

答 ご指摘のとおり。県内8カ所の教育事務所中、総合体力指数は小学生男子1位、女子2位となっている。背景には、スポーツ活動が活発なことがあげられる。



4月に救急車を配備した南出張所



問 推進を！シルバーハウジング

答 安心の住宅政策を進める



及川昌憲 議員

問 市立病院の再編に伴い地域移行する高齢者の受け皿づくりを、主に老人保健施設を中心とした

構想を示している。今後高齢者福祉を含めた住宅政策をどのように進めるか伺う。

答 高齢者専用住宅と定義づけた住宅はないが、バリアフリー化などを視野に入れ、入居者が安心して暮らせる住宅政策を進める。
問 今後介護保険3施設

は、廃止を含め将来は一元化になると考える。国は21年から、生活支援サービスを受けられるケア付住宅支援を始めた。自宅と施設以外の新しい住まいという視点もしっかり持ち、安定的な高齢者の住居環境を確保する政策を望むがどうか。

問 登米市食育計画の推進状況、成果について伺う。食が果している役割を一人ひとりが理解したとき、食と農業に感謝が生まれてくるものか。
答 豊かな食を次世代につなごうということを基



田んぼの生き物調査（南方町大袋地区）

問 医療難民の75%は大丈夫か

答 しっかりとした医療体制を進める



沼倉利光 議員

問 昨年「病院改革プラン」を策定した。市民に信頼される医療を提供するための具体的な計画の

進捗について伺う。また、状況によりプランの見直しはあるのか。
答 23年度の経営改善に向けた取り組みを進める。見直しは、遅くとも2年間を経過した時点で数値目標の達成が困難と認めるとき改定する。

問 医療収益は昨年の4月、5月と本年を比べ、

どうなっているか。
答 昨年の4月、5月より医療収益で1億8000万円程落ちている。

問 月平均90000万円の減額が後半も続くと、大変なことになると、今年2月に約16億円の特別債を借り、23年の一時借入れは28億円、不良債務は19億円とある。不良債務はいつ無くなる計画か。
答 27年には解消できると試算している。

床数は327床まで減とある。市の国保と後期高齢者の受給者で、20年3月から21年2月までに、月平均で1296人が入院している。4人に1人しか市内に入院できず、75%は医療難民だ。今後増えると思うが、5年後は大丈夫か。
答 7月1日に石巻赤十字病院では救急センターが設置され、それらの話し合いをしている。地域の二次医療圏をしっかりとした体制にする。

問 改革プランでは、病

問 下水道事業の経営状況について

答 加入促進と効率的経営に努力する



八木しみ子 議員

問 下水道事業は投資規模が大きく、一般会計からの多額の繰入金による経営が続き財政を圧迫し

ている。整備事業の効率化が課題だ。人口減少等変化を考えた見直しは。
答 市全体の経済性と効率性を目指し、当初計画より事業費で80数億円の見直し減となっている。20年9月汚水処理施設整備の都道府県構想マニュアルが改訂され、それに伴い更に検討している。

問 使用料の適正化を図らない自治体は国の補助対象外になる。本市の地方交付税の交付状況は。
答 国税の算入基準単価以下なので交付対象にならない。20年度は約8500万円の交付税が交付されていない。19年度は約1億4000万円交付されている。
問 使用料の見直しは。
答 県内市町村を参考に市民生活への影響に配慮しながら作業を進める。
問 安定した経営基盤を

どう確立する考えか。
答 未接続者の加入促進を図るとともに、施設維持管理の民間委託等の検討を進め、効率的な下水道経営に努力していく。
冠婚葬祭簡素化運動は
問 新生活運動として市が主導し推進できないか。
答 すばらしいみやぎを創る登米市連絡協議会などの地域団体にに対し、その趣旨を広く周知していただくような活動を積極的に働きかけていく。



美しい水環境をいつまでも (東和町三滝堂)



有害鳥獣駆除で捕獲されたハクビシン

問 ハクビシン被害急増に早期対策を

答 各自がすぐ駆除できる要綱に改正



中澤 宏 議員

問 市全域に広がるハクビシンの被害は年毎拡大。深刻なこの状況にどう対処するのか伺う。

答 市民自らが捕獲できるように市の有害駆除取扱い要綱の一部を6月末までに改正し、その旨早急に周知する。
国の鳥獣被害特別措置法にも対応し、二つの対策において農作物の被害軽減対策を講じていく。
問 「地域でできるものは地域でやる。」という

地域力を活かしたまちづくりについて伺う。

将来の病院構想について伺う。

答 技術力向上に対する意欲と、地域貢献等の強い意識を持つ者が成長できる環境整備を図る。業務委託については、できる限り市内業者が受注できるように業者育成に取り組む。また、やむなく市外業者となる場合にあっても市内の従業員の雇用や可能な下請け等について要請する。

問 医学生奨学金等貸付制度(地元出身医師)と
答 この3年間で、11人に貸付、最短で23年度より市立病院勤務が可能となりその後、24年度と26年度に1人ずつ、さらに27年度に2人の方が勤務可能となる見込みである。自分が生まれ育ったこの地域への愛情と、強い情熱を持って勤務いただけるのを期待している。現在休止している産婦人科、小児科もぜひ再開したい。



活発な活動が求められる総合型スポーツクラブ

問 地域経済活性化策は

答 交付金の活用で投資的な政策推進



浅野 敬 議員

問 国の経済危機対策に係る補正予算を活用し、当市にとって効果的な政策立案に取組む覚悟を伺

答 地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び公共投資臨時交付金等の有効活用で、投資的な政策も推進する。

問 合併協議の計画管理は合併登米市に対する市民の評価が概して高くならない原因のひとつに

必要に応じて検討していく

職員の人事異動に起因する悪しき前例踏襲主義が横行し、「信賞必罰」で人材起用がなされないため、士気が高揚せず、組織の活性化が図られていないと危惧しているが。

答 「広域四事業」を始め「市民バスの運行」「農産物のブランド化」等を主に推進してきた。「合併して良かった」と感じていただけるとともに、取り組む覚悟である。最大の行政効果を目指し、適正な人事管理を行う。

協働のまちづくり

問 21世紀のまちづくりの基本となるのは、各コミュニティが、その地での暮らしの営みが持続可能になるよう住民が意識して活動する。行政はその活動を支える限り支援し、生活環境の整備を図るべき役割があると考えるが。

答 ご指摘の通りであり協働のまちづくりの実践的な取り組みを行う。

問 市長の報酬減額の考えはないか

答 必要に応じて検討していく



阿部正一 議員

問 財政危機や経済情勢の厳しい中、自治体トップが退職金辞退や報酬のカットをしている。議員

報酬については、議会改革調査特別委員会が設置され、議論が交わされると考える。市長はこのような状況の中で、自らの報酬減額についての考えはないのか伺う。

答 すでに減額しているが、今後、総合的に見極めながら必要に応じて検討する。

喫緊な課題は

問 再任され、喫緊に取り組まなければならない課題は何か。市民の一番望んでいることは病院改革である。全力で取り組むべきだ。

答 医療体制の整備や、子育てしやすい環境整備と新規雇用創出や、地域経済の活性化である。

条例制定について

問 いじめ防止条例制定について質しているが、

その後の取り組みは、慎重に判断しなければならぬ。

答 この形で進めたい。

組織再編について

問 これからも陸上競技場、市営球場、パークゴルフ場、総合型クラブの整備、設立と多くの課題がある。また、教育再生会議では、スポーツ庁を設置するとある中で、体育振興課をなくすことには反対であるが、検討する余地はないか。

答 この形で進めたい。



交付金活用で取得予定の雇用促進住宅

問 大崎市民病院へ直通の公共交通を

答 他医療圏とあわせ調査検討課題に



関 孝 議員

問 医師不足による市立病院の診療制限や、入院休止などにより、市内から多くの患者が他市の病

院で診療を受けている。中でも大崎市民病院へは20年度、外来で延べ1万7947人が通院しているが、直通する公共交通機関がなく不便を来していることから、直通バスの運行など、通院手段の調査研究が必要と思うが。

答 栗原、仙台、石巻などの他医療機関への通院

手段とあわせて検討していく必要がある。財政負担や実効性と効率性など、今後の検討課題としたい。

問 石巻赤十字病院へは登米庁舎発、三陸道経由仙台行きの高速バスの停留を要望してはどうか。

役員のみならず手がないなど、存続を危ぶむ団体が増加している。老人クラブのように、事務支援などで存続可能な団体もあることから、必要な支援をすべきと思うがどうか。

答 自主運営が厳しい状況にある団体が始めていることに、大いに危惧している。各種団体の現状は認識しており、あらゆる方策で取り組みさせていきたい。

団体活動に行政支援を

問 社会教育や社会福祉などの団体の中には、高齢化による会員数の減少、



イザという時のために知っておきたい止血方法

問 自主防災の器具機材の整備状況は

答 統一した形で支援していきたい



伊藤吉浩 議員

問 自主防災組織の防災器具、機材の整備状況と市としての助成措置は。

もあるので調査したい。できれば統一した形で支援していきたい。

問 各事業所との災害協定の状況は。

答 現在、36事業所と協定を結んでいる。

問 活断層の調査、研究、情報公開についてはどうなっているか。

答 全国では2000カ

所以上あり、110の調査が進んでいる。県内にも長町利府断層という大きな断層があるが、情報提供を含め訓練の中で対応していく。

消防団の整備状況は

問 現在、地方公務員8万人が消防団に入団し活動している。我が市職員の入団状況は。

答 11名在籍している。できるだけ若い職員が入団できるよう調整する。

問 軽積載車や手引き車

であるが20年を経過しているものも非常に多い状況と思うが。

答 42台の手引きポンプがある。できるだけ早い時期に更新を進める。

問 消防団には人命救助の装備が全くない状況である。今後の考えは。

答 将来的には順次整備が必要と思っている。

問 消防団における移動無線機の整備は災害時に特に必要と思うが。

答 内部の検討委員会を立ち上げ検討している。



1万8000人が通院している大崎市民病院

議会改革調査特別委員会を設置

第2回定例会最終日に、議員及び議会の職務の明確化を図り、市民の多様な意見を市政に適切に反映していくため、議会機能のあり方、組織構成及び報酬等について調査を行うことを目的に、「登米市議会改革調査特別委員会設置に関する決議について」が議員提案として提出され、原案のとおり可決しました。

また、同日に特別委員会が開かれ、委員長に遠藤音議員、副委員長に菅原幸夫議員を選出しました。



二階堂一男 田口久義
田口政信 菅原幸夫
金野静男 遠藤音
及川昌憲 小野寺金太郎
佐藤尚哉 阿部正一

常任委員会活動報告

6月23日常任委員会が開催され、今後の活動内容などを協議しました。

○総務企画委員会

【調査事項】

○まちづくり市民意向調査集計結果の概要について

【閉会中の継続調査事項について】

1. 市税の徴収対策について
2. 市有財産の利活用推進について
3. 公共交通の現状と課題について
4. 入札（総合評価方式、電子入札）について

○教育民生委員会

【調査事項】

○所管に関する事業概要について

【閉会中の継続調査事項について】

1. 登米市立病院改革プランについて
2. 教育施設の維持管理、利用について
3. 子育て支援対策について
4. 環境保全対策について

○建設水道委員会

【調査事項】

○所管に関する事業概要について
○登米市地域水道ビジョンおよび水道料金徴収等管理事務委託について

【閉会中の継続調査事項について】

1. 登米市地域水道ビジョンについて
2. 景観計画策定について
3. 道路行政について
4. 都市計画事業について

○産業経済委員会

【調査事項】

○所管に関する事業概要について

【閉会中の継続調査事項について】

1. 農業振興政策について
2. 商工観光政策について
3. 農地政策について
4. 五ヶ村堀排水機場改修計画について

研修レポート

議会報編集特別委員会

福島県本宮市議会・いわき市議会において研修視察を行いました。



福島県いわき市議会にて

本宮市議会では

定例会終了後、翌月の最終水曜日の発行（閉会后40日）に努めていた。早期発刊の秘策は一般質問の原稿（質問1000字程度）を定例会中に適切とし、答弁部分を編集委員が作成する。

形式については、一般質問以外のページは5段組で見やすく、余白の使い方も考えながらの紙面構成となっていた。

いわき市議会では

全ページカラー刷りが目を引く議会広報。それゆえに、2ページに必ず3枚の写真を入れている。特徴ある点は、議員一人当たり的一般質問時間が年間120分とされており、掲載するときは、発言時間によって行数按分としていた。（10分で8行）

形式は5段組で、活字は12ポイントと大きい（登米市は10ポイント）。

※「登米市議会だより」も今回、5段組にしてみました。（一般質問は6段組）

会派構成

会派とは、同じ政策を持つ議員の集団をいいます。また、会派を構成することにより、能率的な運営ができます。

会派を結成するには原則として2人以上が必要ですが、本市では1人会派も認めています。

代 表 者
経 理 責 任 者
遠 藤 孝 音
關 藤 孝 音
岩 淵 正 宏
田 口 久 義
八 木 しみ子

新・立志の会

代 表 者
浅 田 修

浅田修

代 表 者
経 理 責 任 者
藤 藤 尚 喜
佐 藤 尚 喜
工 藤 淳 子

日本共産党市議員団

代 表 者
佐 藤 勝

公明党

代 表 者
二 階 堂 一 男

社会民主

代 表 者
経 理 責 任 者
中 川 昌 憲
武 澤 節 夫
佐 々 木 政 信
伊 藤 吉 浩
星 順 一

登米・みらい21

熊 谷 憲 雄

岩 淵 利 光

沼 倉 利 一

庄 子 喜 夫

菅 原 幸 敬

浅 野 長 太 郎

及 川 正 一

登米フォーラム

代 表 者
経 理 責 任 者
伊 藤 静 男
金 野 静 男
小 野 寺 金 太 郎

※ 届け出順

平成20年度政務調査費収支報告

政務調査費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派に対し一人月額3万円を交付しています。登米市議会では、使途の透明性を図るため、収支報告に領収書の添付を義務付け、残額については市に返還することになっています。

会派の名称	所 属 議員数	単 位：円					備 考
		支給額	支出済額	戻入額	預金利子	戻入総額	
7日会	3人	1,080,000	1,017,065	62,935	549	63,484	
公明党	1人	360,000	269,103	90,897	328	91,225	
登米・みらい21	13人	4,620,000	3,432,853	1,187,147	3,503	1,190,650	H20.5より一人増員となった。
日本共産党議員団	2人	720,000	70,769	649,231	822	650,053	
夢大地・とめ	8人	2,880,000	2,748,740	131,260	2,206	133,466	
とめ・立志の会	6人	2,160,000	125,490	2,034,510	2,893	2,037,403	
水の里	10人	3,600,000	3,520,640	79,360	2,941	82,301	
計	43人	15,420,000	11,184,660	4,235,340	13,242	4,248,582	

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

登米市議会に期待する



及川文雄さん
(東和町)

先日一人暮らし老人から電話があり、後期高齢者医療保険料の制度改正による払い込み依頼書の内容が理解できない、ということでした。

官僚の考案された制度で未収金を想定されての措置と理解しますが、地方に住む善良な高齢者の年金から後期高齢者医療保険料と介護保険料を徴収されたら・・・、経済にも年金にも格差があり、この現状を知っての措置なのか？国の財政悪化は国民に直結し、疲弊する高齢者に対しむごい措置であると思えます。

そこで、4月の激選に勝ち抜いてこられた議員各位に期待することは、公約を果たしながら若い人達が定着できるような環境づくりと、高齢者が安心して暮らせる登米市の構築に尽力され、登米市議会が発信する発議・提案権の活用も視野に期待いたしております。

この3月31日で定年を迎え、4月からJA宮城中央会に再就職しました。新しい職場では全てパソコンで管理しており、メカに弱い私はその作業を覚えるのに四苦八苦でした。

現職場では、女性部事務局として「エコ活動」「食農教育」「地域農業を守る」事業の展開について活動しやすい体制づくりを行っていて、行政や各種団体との連携がとても重要です。

相手の立場に立った対応を

その中で、行政からいろいろな情報をいただくことがあります。先日、「学校給食の地場産品取り組み状況」を尋ねたところ、インターネットを開くことからご指導をいただき、欲しいデータが見つかったときには本当にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいでした。

問い合わせをする方は弱者の立場にあると思います。それを念頭に、行政でも、私も含めて対応には気をつけたものです。



高橋梅子さん
(南方町)

ちいさな地方分権？



菅原ちい子さん
(石越町)

石越町に住居を構えてから40年間、石越町は良い意味では大きく一つも変わっていない。中央で活動されている市長、議員の皆様はどのように感じているのでしょうか？。中心地だけがにぎやかになれば市として良いことなのでしょう。たとえば石越町にある、大金をかけて作ったチャチャワールド。私が見ていてとても、もったいないと思います。冬季休業には「おどろき」ました。チャチャワールドの中に、お風呂設備等があれば良いのではないかと思います。雇用にも繋がりがまだまだ働きたいと思っているお年寄りの「はげみ」にもなると思います。お湯は鳴子や中山平温泉等より運んで来て良いのでは、これも登米市内における地方分権ではないでしょうか。

表紙写真を大募集

登米市議会では、年4回発行している「とめ市議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。奮ってのご応募お待ちしております。

●テーマ

登米市内の「輝いている人」とし、分野は限定しません。

●規格

未発表、未公開のオリジナル写真とします。

プリントの場合はL版以上。電子データの場合は、500万画素以上でJPG形式のものでお願いします。

●応募方法

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の題名とその説明を添えて、議会事務局までお送りください。

電子メールでの応募の場合メールアドレスは「議会だより表紙写真」としてください。

●お願い

①人物が明らかに特定できる場合は、応募前に本人の了承を得てください。

②採用写真の著作権は登米市議会に帰属します。

③応募多数の場合は、編集委員会で決定します。

●送付・問い合わせ先

〒98710595
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
登米市議会事務局

電話 0220-22-1913
メールアドレス
gikaijimu@city.tome.miyagi.jp



「輝いている人」



ドリーム☆キッズ



平成14年11月の結成以来、今年度で7回目の公演を迎えることになりました。現在の回員は登米市内の小中高生36人。

学校も年齢も違う仲間たちが、1つの目標に向かい、楽しく稽古に励んでいます。

7回目を数えて、ますますパワーアップした「ドリーム☆キッズ」のミュージカルをぜひご覧ください。

第7回ミュージカル公演

宇宙シドレッ!

いちばん星★みつけた♪

9/12⑤・13⑬ 登米祝祭劇場

議会からのお知らせ

市議会第3回定例会

9月3日(木) 10時 開会
・20年度会計決算 ・一般質問など

議会は市政を知るよい機会です。
お気軽に傍聴してください

議会のホームページを
開設しています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>



あとがき

今年は選挙の年、市議選が終わり、まもなく国政、そして県政と続きます。改選後初めての定例会は、21人の一般質問、市長の所信表明と補正予算等が提案され、審議を終え、新生登米市の5年目がスタートしました。本委員会も新メンバーで「より早く、より見やすく」をモットーに編集作業に取り組みました。市

民皆さんからのご意見を取り入れ、親しまれる「議会だより」にしたいと思えます。ご意見ご要望をいただければ幸いです。(田口 政信)

議会報編集特別委員会

委員長	田口 政信
副委員長	岩淵 正宏
委員	工藤 淳子
	伊藤 吉浩
	関 孝
	田口 久義
	佐藤 尚哉
	中澤 宏